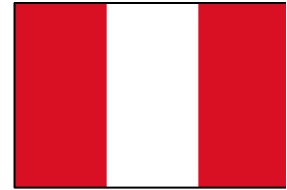


セチュラの風だより

2019年6月 第三号



i Vamos a estudiar! 一緒に学ぼう

西島 将 (Nishijima Tadashi)

日本はアジサイの花が美しく映える梅雨の季節となりましたが、いかがお過ごしですか？今回は活動について紹介します。私は、セチュラ郡役所に月曜日から金曜日まで勤務し「環境教育」に取り組んでいます。簡単に言うと「環境を守る大切さを学校巡回し伝える」という事ですが、なかなか難しいのです。なぜなら、ペルーは近年急速に経済発展を遂げたため、工業化や都市化が進んでいますが、人々の意識は昔のまま。ビニールゴミやペットボトルを道端に捨ててしまうため、分解されずに町に溜まっていきます。そこで、郡役所では積極的にごみの分別回収の啓発活動をし、街を綺麗にしようと取り組んでいます。セチュラで活動して、改めて日本が綺麗なのも、多くの人の努力の成果なのだと気づきました。

環境教育の授業って？

私は現在、セチュラ郡内の小学校と中高等学校(ペルーでは中高が分かれていません)を同僚と一緒に巡回し環境教育の授業を、授業指導案を作成しスペイン語で行っています。5月は、10回の授業で約340人の生徒を教える事が出来ました。セチュラには日本人は私しかいないので、学校に行くと生徒が集まってきて、授業後は決まってサインを求められます。小学生低学年には、授業の一環で折り紙を一緒に作って日本の文化や遊び等も紹介しています。特に日本のアニメ(キャプテン翼・NARUTO・聖闘士星矢)が、ペルーでもテレビ放送されているので大人気です。



環境教育の授業中



環境教育の授業後

ペルー北部地震の状況！！

今回は、ペルー北部でおきた地震についての状況を紹介します。ペルー北部で5月26日午前2時41分(日本時間午後4時41分)頃、マグニチュード8.0の強い地震がありました。私の住むペルー・セチュラも同じ北部地域のため、かなりの揺れがありました。明け方に強い揺れで私も目が覚め、ドアを開けて机の下に隠れました。日本では、出口を確保して揺れが収まるまで安全な場所で待機しますが、ペルーでは一般的に家があまり頑丈な造りになっていないため、地震があつたらすぐに外に逃げます。今回の地震で災害の際の対処法が、国ごとに異なる事を知り驚愕しました。地震後、職場の事務機の棚が突然倒れてくるといふ二次災害がありましたが、幸い、大きな影響はありませんでした。